５（2023）１がい

　　：（2023）25（）1800～1910

　　：（かでる2.7　710）

：、、、、、、、、

、、、、、

：、

：がい

　　　　　、、、、

【　】

よりですが、のおそろいですので、がいをいたします。、をめますでございます。どうぞよろしくおします。は、、、・のにをいしております。をしますので、されるは、をしていただき、がに、いただきますようします。またには、にをおっしゃってください。それでは、にあたりまして、がいよりげます。

【　】

がいのです。よろしくします。それでは、のに、。にはからのがいの、につきまして、のとをいただいておりますことに、このをを。または、そしてしいただきましてありがとうございます。

さてにおきましていただきをいたしました、とですが、ものでからが。この、においてはやなどにおいて、ながあることや、がであることなどについて、のへのやをとともに、ののなど、がいのあるのにまいりました。がいのにや、などがになるもがのに、のをいきたいとおりますので、をよろしくします。またのでございますが、ではありますがのがい、のがいのについていただきたいとおりますので、にはのないごをいただきますよう、といたします。はどうぞよろしくいします。

【　】

のです。に、、のでありまして、にになられたもいらっしゃいますので、のののと、のをさせていただきます。まず、からです。ただいまをおししますので、いします。

【】

こんばんは。ろうのです。は、を、のをいます。は、ろうのです。でしているろうとようなをめています。があれば、どこへでもできるを。は、１に、ろう、をいたしました。は、ろうです。では、のとしてをいたしました。は、ろうはとのがいがすると、がわるだけでなく、をすることがとてもしくなります。そのため、やにをして、にできるをしました。そののをからするです。のしているろうとがるようにのをいただきながら、をめていきます。はどうぞよろしくいします。です。

【　】

これから、をにしていきます。に、です。します。

【】

でございます。はとにこのようなでにでし、しいができることをにっております。は、というところからさせていただいております。あった、このにもがあるだろうとをつおさせていただきます。に、あるのさんからのが、ありました。そのがされたは、さんがによりをして、にをれるというでした。そこで、をわずらい、そのをするさんから、そのさんへどのようなをしたらいいだろうかというが、のにました。そこでのでいで、にですとか、、のというのがあるのですが、そういうところののをすることにするわけですけれども、そもそも、そのあるののがそこのにありまして、とは、じのにあるにもかかわらず、のにそういうがるということが、そもそもがいのをえたのをしているなというふうにじているところです。そういうところからも、このでは、、がういろんなたちがににして、のにかってんでいく、このがまさにこれからのにめられていることだなっていうふうにっております。５もったこのもしかりでありまして、だけではなくて、また、というくくりだけではなくて、のとともに、びでのがされたこと、これはにばしく、もっているところです。はからているですけれども、にはまだがされておりません。はがわりましたので、がありましたので、ぜひでもじようにてのとをしたいというふうにっております。いや、させます、ということを、いさせていただいて、とえさせてもらいます。しました。

【　】

、にでございます。

【】

のといいます。もこのにさせていただき、ありがとうございます。またのには、いろいろになっておりますことをこのをりておげます。は、のえづらいにするのししをっております。は、このかでるの５にございまして、こちらのでのさんとにをしております。ののでいろいろまたさせていただきますが、のがいにおけるのということにづきまして、におきましても、、のびにそのにわるのにしているところでございます。また、さまにはいろいろごをいただきたいといますので、どものにいろいろごをりたいとっております。はどうぞよろしくいします。

【　】

に、です。よろしくおいします。

【】

のとします。はこの３でございまして、はというところにおります。とか、あるいはなどのをしているところでございます。はどうぞよろしくおいします。

【　】

いてです。よろしくおいします。

【

こんにちは。のといいます。よろしくおいします。は、でをしていました。ろうにもいました。また、のはがいです。のとしてもいろいろおができるかなとっています。さんとに、いろいろえていきたいとっています。どうぞよろしくおいします。

【　】

です。どうぞよろしくおいします。

【】

のです。はでありまして、は、ののというでもあります。のというものもけておりまして、をとしてするというのと、あとのの、がむところがによくるようになりましたが、そのにいるのに、からはでえてらなくなってしまうというがまだあります。のをやすということ、さらにののもやしていく、そうしないとしいたちがえていかないなということもえながらをしているところでございます。ともになをしているところですので、またよろしくおいします。

【　】

です。よろしくおいします。

【】

、のとします。になっております。のでは、ろうの・のですとか、・のなどをからをけ、をしているところです。において、なことがこれからされるということですので、いろいろしながらですね、めさせていただきたいなというふうにっていますので、どうぞよろしくおいします。

【　】

です。よろしくおいします。

【】

、めまして。、ろうあのとします。よろしくおいします。からしてめていたしました。がわからないことがたくさんありますので、さんとにえながら、いふうにしていきたいとっております。よろしくおいします。

の、のをていましたが、ながらののときにがついていない、もないというで、それもめて、がないというがありましたので、そのもにえていきたいとっております。もう、、はいですけれども、がりないです。そしてしております。いのがにだとっております。そのためののもしいになっております。をして、てるようにりみをにえていきたいとっております。はよろしくおいします。

【　】

いてです。よろしくおいします。

【】

さんめまして。ったままでいたします。のをしておりますとします。５のからさんからぎをしてをしております。はができません。、にでしてくれたり、がってるでありますとか、をいただかないと、をもらうことができないです。がいをつののとなるんでしょうけれども、をとしてもらうためには、は、からとてもれております。のは、にべてとわれており、３しかありません。なのでこのにだけじゃなくて、のので、とじように、のをいただけるようなをのさんとにしていきたいと、っているところです。のようながいをがらしやすい、になっていくのはどういうふうにをしていったらいいかということを、のにえていただきながらばせていただいて、をしていきたいなとっています。まだまだですので、いろんなところがわからないんですけれども、よろしくおいします。です。

【　】

です。よろしくおいします。

【】

さん、こんばんは。はのといいます。までは、のがになっておりましたが、が、をしたために、がわりにこちらのとしてめさせていただくことになりました。よろしくおいします。はのがでまってされています。やをして、のや、のなどにめてまいります。このの、めてしますのでからのになるといます。にえていただきながらってめていきたいといます。よろしくおいします。

【　】

です。よろしくおいします。

【】

とします。よろしくおいします。はのがこのでされるところから、をめてまいりました。もちろんだけではなく、もった、したり、えをいただいたのもおられます。これからのために、さらにこのがにできるようにしてまいりたいといます。どうぞよろしくおいします。

【　】

です。よろしくおいします。

【】

よろしくおいします。からましたです。にがあります。のにはがったように、をげることをしています。がほどおっしゃったように、・はがわかりません。をしているからといって、てのがきれるわけではございません。それでにえてえる、このようにでがることもありますし、といってきでくこともあります。まだまだとべると、ということがしていませんので、、についてのしいもあるとうんですけれども、のとしてもごをさんにえたいといます。です。

【　】

いてです。よろしくおいします。

【】

をつなぐのとします。どうかよろしくおいします。をつなぐは、がいのあるおさんをつさん、そしてのでられている、であります。１０の、それからをつのにけておりまして、をつなぐはということになります。ののですが、８０ぐらいのにのがあります。で５,０００のにのにしていただいています。はにがいの、のの、それからのれにきくされましたが、のの、それからあすなろの、がいの。そして、ですね、のが、どもたちがえて、がくなりりなくなり、にをめて、７のとしてしいとし、４からにのがついたというようなで、さんたち、おんたち、のをにしています。ただ、ですね、のがになっていて、いをぜひにというふうにいするをしていますが、なかなかしいというがあります。また、８ですが、１ですね、をっているんですけど、をに、を、しています。のところ６００から７００のをいただき、とをめていくです。というでは、がいからにをるとか、あるいはをわせていただくとか、そのにもりんでいることがありますので、こうしたに、があればですね、いろいろたちのももさせていただきたいというふうにっています。どうかよろしくおいします。

【　】

いてです。よろしくおいします。

【】

だけはもしたいといます。よろしくおいします。のといいます。にとなりました。にするたびに、いろいろながいのやのをいてになり、のにもきているといます。は、のまりのようにじるもいですが、であり、はにて、やのもおり、ろうのらしをえたいというこえるはいつでもできるです。、にてのがあり、３のがしました。のでありもありました。がいにらず、なにしても、にえをするです。よろしくおいします。

【　】

なお、の、のにつきましては、によりのをいただいております。て、ですが、りってかい、、にっております。

【　】

がいのといいます。どうぞよろしくおいします。

【　】

そのにの、のがっております。また、にびとして、です。

【　】

　です、よろしくおいします。

【　】

です。

【　】

　です、よろしくおいします。

【　】

はされているが５となっております。またにの。ってかいにの。ってにの。のに・のがっております。

きき、のをいます。もしげたり、のがわれました。のにより、はのによってするとしておりますので、により、からをいただきたいといますが、いかがでしょうか。ごありますでしょうか。おいします。

【】

のです。ですけれども、これまでのをめてこられましたがいのではないかとえておりますので、をしたいといます。

【　】

ありがとうございます。ただいまからのがありましたが、いかがでしょうか。（から）ありがとうございます。それではこれからののにつきましては、においします。どうぞよろしくおいします。

【】

をめさせていただくことになりました、です。このがすには、これだけのいののごがです。できるだけくののごやごがられますようにをさせていただければといます。ごをどうぞよろしくいします。

それでは、、にってめさせていただきます。それではのとの、について、からをおいいたします。

【　】

のです。のとについてごいたします。のにつきましてはおにしたのりとなっております。は１９をとえております。

に、のをさせていただきます。については、、、に、1「びの」、２「がいとがいのについて」、３「３がい・がい（）の」、４「でのなどについて」、５「のなえ（）」、６「でのなの（）」となっております。ありませんでしょうか。ないようでしたら、いします。

【】

それではにります。つのがあります。このつの、にをおいしたいといますので、どうぞよろしくおいします。

【　】

のです。にとして、１「びの」についていたします。のについては、とがから５をしたため、７にしたで、これまでのりみについてにをっているところです。は、４にったりみについていたしますが、のとするがありますので、にごをさせていただきます。まずは、からです。のをるりみでは、１０にで、のとわせて、ののと、のをっています。また、１１には、１で、じくをっております。はさんにいただいたについてしたや、についてのを、ですとか、などでしてをっております。そのほか、のでののや、で、のなどをっております。ののでは、がいでののや、けとして、なをでしています。そのほか、や、でのなどをしてっております。

ののでは、がいの「ほっかいどう」の、への、ののみげなどのりみにえて、がい、ののへの、ののとのについてはのを、きの・、がい、がい、それからになりますが、がいやのについても、ききしてっております。

のののでは、がうや、のへのをうほか、としても、、、ろう・、けなどの・をっています。また、、がい・、がい、などをしてっております。

に、にするりみです。としてのののとして、ほどもれましたが、１１の１でのので、をして、をしたり、のもにしたをするなどして、のをっております。そのには９２３に、のの５のとして、さっぽろのやのなどでのについてしております。また、をめるのとし、にして「」のをしています。さらにをめるのにもしておりまして、ろうあののをしております。

に、をするのとしては、でのや、をしてっております。へのとしては、ろうあさんのをて、５１に、５３にの２で、のをっております。ですが、のについて、をわります。

ききまして、である６からのたなのについてをいたします。は２になります。

の６がいが、５までののため、６からのたなをにするがあります。さらに、これにせて、もうつ、とはのであるがいとこのとわせて１にすることでえております。なぜするのかということもめ、まずについてさせていただくと、がいというのは、にづくで、ののため、やをめたなになります。のは２で、は２５からは４までとなっています。これにして、がいはにづくで、にづくとして、なをめたものになります。のは、３から５までのとなっております。として、のが、は１０、は３で、のがしていないということや、が１０というのため、そのののしのができなくなること、また、のでも、３ごとにをというのはがきく、ながなされないまま、ののにわれることなどがされておりました。

そこで、このとをし、のや、をわせるということが、の１２にされましたのでもあるがいで、されました。たなは、なは６として、３ごとにのしをること。ほどしましたが、２がは４でするところを１して、のをとあわせて、５までとすることとされました。にたっては、のみをとして、のについては、のをさせ、にないやについては、からさせるなどして、つのをにし、そこに５５にがしたをすることとしております。のはのになっておりますが、はとして、３がい・７がいとしてをいるところです。こうしたえでしたのなをしたものがの３になります。にしますと、「１ の」では、やなどにづき、これまでとにとして、するのがいのあるがしてでらせるをしていくこととしております。「２ のづけ」は、は、にづくがい、にづくがいとしてするものになります。「３ の」では、なは、がいがい、なは、でいただくほか、でのやもをしております。「４ の」はのほうで５にされたなにしてすることとしております。「５ のための」の（１）すでは、するてのがいのあるがしてでらせるをしてをすることとしております。（２）のためのなえでは、として、「①がいのの」からみげはしますけれども、「⑫にえたの」まで１２のをとしてめていきます。６にあったのというがなくなり、たに、、のととの、というをけております。「６ の」では、などをにし、などがあるは、のしなどなをうこととしております。「７ 」では、をにしたなれとしては、８に２の、９になえをし、を。１０に３、１１にのをへ。にのにする。１に４の。２にをへし、に３にはをするというとなっております。

これまでのについてしてきましたが、ここからは、でいただくなどについてします。４になります。では、ののののためののうち、の「１１ ・のの」と、「１２ にえたの」について、にをおいします。そのの、としてのですが、のでのなえについてしていただいたあと、いただいたごとをに、でこの、のをします。８から９ごろに２のをし、のについていただき、のをまとめます。その、９から１０ごろに３をでし、にしてごをいただきたいとえております。そこで、の５では、でしていただくと、なについてをいたしました。まずの「１１ ・のの」では、がいのあるにし、がいにした、のや、のなどをうほか、のにより、がいのあるががいのないとにのをられるようのにりむことで、がいのあるのをし、とをします。また、がのをつであることについてくへのをめるほか、をするためのなをいます、としています。また、それにうなとして、「１ におけるの」、「２ の」、「３ としてののなど」、「４ などにおける」をえております。こののえとしては、のが、とのをし、ののなどをしてしました。１から４までのなについては、のをしたほか、としてののをとしてしております。また、このにおけるなどはにしかがないのため、そのままこのにさせております。

の「１２ にえたの」では、やとをり、はもとより、にがいのあるのをするため、などとのによるをするとともに、がいのあるがにおいて、にできるよう、まいから、、までしてにおけるでなのと・をします、としています。それにうなとしては、「１ まい・まちづくりの」、「２ ・のの」、「３ ・の」をえております。こちらのについては、がのをきいだとして、なのはをそのままさせております。

６がほどした、なのについて、のつのとからしてさせたものになります。にづくのというのがなために、ずしものとでするというわけではないのですけれども、のをしますと、ので「・のの」のとしてげました「①におけるの」には、のでいうのとかのなどのがまれます。「②の」にはのでいうのや、のなど、それとのびののがまれます。「③としてのの」にはのののの、のがされるというでえております。そして「④におけるについて」は、ほどったように、にがないことから、のをそのままするでえております。

もうつのの「１２ にえたづくりの」のとして、「①まい・まちづくりの」には、のにおけるのですとか、によるののがまれます。「②・のの」にはでいうによるのづくりのがまれます。「③・の」には、でいうにおけるのと、などにするのがまれるということで、にとのをしいのにできるようなでをえております。なお、なのたたきについては、のでおしするでおりますので、どうぞよろしくおいします。はになります。

【】

のです。いただき、ありがとうございました。があと３０というところです。そこでまず１、つのにするのについて、まずからご・ごをり、それからいて、２から６にるについてじくご・ごをる。そしてにをして、からのごをいただこうというふうにっています。ですから、まずはのをったで、ごをいただければとっています。

まずに、１のびのについて、ご・ごがあれば、ごをおいしたいんですが、いかがでしょうか。ごいただくには、とおをってからおいできればといます。、からおががりました。

【】

です。よろしくおいします。１のほうをちょっとえてしいんですけども、したで、もですいません。がいのをった、これは、どういうことをにやられているのか。がいがにするためにどんなことをりんだのか、ちょっともえてしいんですけども。

【　】

のです。がいにして、これはへのによりっているなんですけれども。がいにして、でのによって、ですとか、とか、とかですね、そういったもののや、などについてをうというになっております。

【】

できました。がいにはまれつきのがいもいますし、のがいもいますが、おっしゃられたようなはになぜされてるのか、もっとくやるべきじゃないかなといました。このですね。わかりました。ありがとうございます。

【】

のです。、からいただいたことについて、これはというとというについて、すべきだということでした。、からにがあります。

【　】

のです。えば、のがいのですと、にったで、そういったですとか、のにけたその、をしているんですけども、でがいになって、までですとか、そういったののなかったにして、でですとか、ですとか、のをするというでやってきたところでございます。

【】

よろしいでしょうか。のについて…からががりました。

【】

のでございます。１ちょっといただきたくていたします。２ののところで、としてののの、なをされていることはしています。そのどうだったのかなっていうところ、にどうけめられているのかということをおかせいたいといます。

【】

すいません、から。ということで。

【　】

のです。までにするのないにして、ですとかなどでりんでをしてきて、をするも、こちらでけたりしてきましたが、をにえるようながまだまだないということもありますので、これからもを、のさんにして、えるをかけていきたいなというところでえています。まだまだこれからかなとっております。

【】

ありがとうございます。です。、ごいかがでしょうか。からががりましたので、すいません。からもががったんですけれども、、、いします。

【】

のです。いしたい。つは、ののの、についてです。もにしていますが、においてのがえているとはいません。にのであるののもく、をぶがない。ではがたないのです。どのようなきやきかけがあったのか、にえていただきたい。つは、の、をするのについてです。（）のとがありますが、もうしどのようなであったのかえていただきたいといます。です。

【】

から、なでをいいたします。

【　】

のです。で、ここでしていたのは、のにしているにしてののことをさせていただきました。におけるについては、のでもやはりとしてづけられているので、にしてはのについて、どもとしてはずっときかけてきているところです。ただ、なかなかがないとかで、ですとかやかにっていないというところがあることもはしております。

それからでのとですけれども、でのは、こえやのにのあるおさんとにしてをしているもので、に１や２、ので、などをけているものです。のはであったり、あるいはやとのわりをしてのをすというであったり、それからをにいろいろとをうなどをしているというふうにいております。のでやっているもので、のについては、こちらのではそこまでははしておりません。それからですけれども、こちらもこえやのにのあるののをるため、においてしているものです。３のにがいのあるびそのにして、なをするほか、、ども、あるいはなどへ、のをして、やへなのをうというになっております。こちらもですね、がのなので、のはどものでははしていないです。

【】

、よろしいでしょうか。のがうのはしないんですけれども、できたら、のについてもる、ぶがあれば、のえるのにかなというふうにいました。ちょっとがなこといました。いて、からががっていましたので。

【】

です。のおですけれども、をするののところで、にとってものをけていただきたいといます。それはなぜかというと、のはをびたいとって、のにくんですけれども、がないものですから、がれない。まして、ろうののはとてものきがいものですから、めてしまうというのごをかいております。そこでをつけて、もあってのをしていただけると、もえるし、ろうのとのもとれ、このということで、、にとってもをべるをぜひここにれていただきたい、したいというのがです。それとですけれども、ほどごがありましたがい、この１２にわれたですね。としてということのがあったとうんですが、そのにがいののとして、へののをって、がいへのをっているということが２いたといます。そので、からのなんですが、がいのからもくのがされています。のについては、のののみなんです。それで、のにすると、きでわかりやすいがかれています。やしみは、にしたんですけれども、へというがあり、それのみなんですよね。それでめてしまうがあります。なぜかというと、にってもをられない、にってもられない、そしてへとなると、でがあるところはいいんですけれども、がないがくあります。、でこりました。さんからのにもせがあって、にははのでわれ、がされました。ではがやっているということがありますので、のないのが、どこにすればよいのか、すぐかるようにしていただきたいとっています。のごであるさんからもをおいします。

【】

、からものがあるようです。

【】

のことでもいろいろになったんですけれども、をおいするということが、にんでいるはとてもしいことになるんです。にんでいるですと、どこのでものをして、をですとか、のりえのときにわせていただいていることがいです。でものは、そのとびきがないとか、があったとしても、そのがえないをしているも。そういうのは、をわせてもらうことができません。のはでえますが、のは、のはにされています。がのをしたい、はえないことになっています。はいので、そのをできればしていただきたい。そういうときにでやるんだよではなくて、ですとか、からのがほしい、それがからのおいです。

【】

ありがとうございます。をめるとしてはですね、、をいただいたというふうにけ。そこでもししえなければ、ここからはのにけてというところで、どういうところにをくべきなのか、あるいはどういうでもってをえるべきなのかというところにめていきたいとうんですが、よろしいでしょうか。

それではのの２から６になります。３がい・７がいについてということで、まず、ご、おえをごいただければとうんですが、いかがでしょうか。こういうところにもっとをくべきじゃないかとか、、、からごがあったような、こういうところをもっときめかくをえていくべきではないか、そういうこともめて、でありますから、このにけてのごであったり、あるいは、あるいはとして、こういうところもしてもいいのではないか、そんなようなところでごをおできればとうんです。よろしくおいします。いかがでしょうか。からががりました。

【】

すいません。です。なところというで、のじたところをちょっとべさせてもらいます。まずとというつののでわれたもの、それをしようというのは、ある、、ずいぶんいっただなっていうふうにじています。をれるのだろうなとうのですけど、がしている、この、のにすることというのは、さんからのもあるように、まだまだすべきことはたくさん、はだといます。このつのをして、しちゃうんじゃないかなっていう、すごいを、にじています。もっともっとんなののでは、このもめて、もめて、もっとくしてめていくのあることはたくさんあるようにじております。そういうことをまずでとして、えはです。

それからがいにしてですけども、のくくりになるかなといますが、、、それからというものにえて、今は・、んでもらう、わりにいてもらうというが、ながでもされております。そういうこともしっかりとしてしていくがあるなと、これはなところにぜひえてほしいなというふうにじているところです。

それからこれはちょっとですけども。のでににっていうがありますけれども、これはとしているので、のことをしているのかなっていうのがちょっとわからないので、してもらえるとありがたいなっていうふうにじました。のつんでいるところとべても、ちょっとなんかいてえてしまうなとじたものですから、もしそのことについて、ごとか、こののでのれてもらえればわかりやすいかなとうのですが。とりあえずです。

【】

です。からなでいします。

【　】

のです。このにおけるですが、ののですね、きくはのとのというのにりまれておりまして、としては、のというのと、ののこのつがきなとしてっています。のは、ですとかなど、がいにしたのにめること。のということは、はのですとか、なこと、あるいはのといったことのに、ののにおいて、によるのびについて、きちんとをることといったことがのでりまれておりますので、そのについてしいのにもさせようというふうにではえていたところです。です。

【】

ほかのものとびでべたときに、なんでだけが、のことよりも、もっとにりむべきことはあるのになってじたんですけど、だけかもしれませんが。ここにあえて、するがあるのかなっていうふうにじた、です。

【　】

のです。いただいたをまえて、これからにののたたきというところをしていきます。そのでおっしゃっていたもまえてしていきたいなとっております。

【】

あとが１０ぐらいになっておりますけれども、このにつきまして…から。にからごをいします。

【】

ろうのです。ではないんですが、ろうののためとののところでつおししたいといます。まずつめは、の・のをしてほしいです。、では２４０とが、かなりないです。、のがいであるろうは、の、のだけでなく、のという、つのをえています。のではにくにもままならず、さんとじように、いやなどにしたくても、があるとができません。ろうのをするためには、ののがなければ、きができません。では、４から３６０というがになりました。じように、のしているろうも、してにができるようにりいただければといました。

つは、・のについてです。ろうが・をしたくても、に・がいないときがあります。でもろうがしているに、の・がいないと、ろうの、ができないので、ににしていただけるようなてをえていただければといます。

それからのときのことですが、ろうは、もです。ろうでがくなったもいます。からがくなったというもいらっしゃいます。はです。のは、にくと、ののがしますよとってされます。・はりでたされます。のはではっきりとしてくれればわかるのでいいんですが、ろうのろうはそういうわけにはいきません。ができる、ができるがにって、をしていただかなければです。ではそれがにがってきています。ですが、にはまだそういうがないようなので、そういうこともえていただきたいといました。がないのにすみません。ありがとうございました。

【】

なとしてこれからしていきたいといます。、ほどおががっていたようです。おいします。

【】

です。としてげたいといます。におけるについてがあります。では、の、にがしますが、、のにははではありません。のえによってやのがされています。のでは、４ののうちののがのをしていました。とに、・には、びのがといます。がいは、にのをりしているとはえないというがあるということです。

にしたのについてですが、のをとしているとがありました。2023のでえば、はがですので、のがをねてをしております。そして2022までにがされていましたがとなり、はのがのもねているといています。これはではないかといます。のでは、にがされ、ののや、ののがではといますので、もうしにしてしいとえます。

また、のについて、のところがいといます。のとして、のがないにして、、もではないでしょうか。、のとしていくことができるといます。のがないめるのではなく、のをしつつ、そのにしているがいのをしていただきたいとえます。です。

【】

ありがとうございます。ばかりをってしないんですけれども、のとしては、そろそろどうやってまとめていこうかというにっています。にがなければ…。おいします。にいします。

【】

からも、ののでめていってはどうでしょうというがされました。そのでよろしいかとうんですが、がいののが、にはなかなかにはけてないというが、これはをつなぐののさんたちでさえも、そういうがにいんです。だからにえばですね、がいのにい、そういうは、ににはなかなかけてないのではないかと。この、がりんできたにるもありますので、ですね、させていただきたいというふうにっています。です。

【】

しありません。まとめにってよろしいでしょうか。のの１、つまりつのののについて、これはもいただいたんですけれども、もられておりましたので、ごあるいはありましたら、でまでおせいただけるとにありがたいです。

それから、の２、３がい・７がいについてでありますけれども、、からしいただいたなえ、あるいはそののありについて、にはこれをとして、のでのたたきへんでいくということで、ごよろしいでしょうか。もちろん、それにけては、、たくさんのそれからなをいただきました。それをまえてをすということで、できなかったことがありましたら、あわせてのにもこういうをえたらどうか、こういうはじゃないかということをせいただければといます。どうぞよろしくおいします。それではのについて、からがあります。

【　】

のです。のについては、８から９でのをしております。をに、のにのごをしといますので、よろしくおいします。です。

【】

ののがく、にしなくっております。てへるというになってしまいますけれども、ごください。それではのはとさせていただければといます。さんにごありがとうございました。それではをへおしいたします。

【　】

のです。ありがとうございました。いただいたごにつきましては、ののたたきのをめていくで、にさせていただきたいとえております。ききごをおいします。これをもちまして、１をいたします。はおれさまでした。ありがとうございました。